

(第2回)

中  
2023

国

語

始める前に左の注意事項を読みなさい。

- 始めの合図があるまで開いてはいけません。
- 問題は全部で21ページあります。
- 答えはすべて解答用紙に書きなさい。
- 問題冊子、解答用紙のいずれにも受験番号、氏名を書きなさい。
- 質問のあるときは静かに手をあげ先生の指示を待ちなさい。
- 終わりの合図があったら、ただちに筆記用具を置きなさい。
- 問題冊子を持ち帰ってはいけません。

受験番号	
氏	名
	ふりがな

一

次の文章Aは『地球温暖化は解決できるのか パリ協定から未来へ』（著 小西雅子）・文章Bは『クマゼミから温暖化を考える』（著 沼田英治）の一節で、共に「地球温暖化」について書かれた文章です。これらの文章を読み、後の問いに答えなさい。なお、文章Aでは一部小見出しを作問上省略しています。

文章A

年末になると毎年のように「気象観測が始まって以来、最も平均気温が高い年となった」というニュースを耳にしませんか？ ① 実際に毎年のように記録を塗り替えており、2015年も世界全体で過去最高の気温を記録しました。過去130年で世界の平均気温は0・85度上昇しています。② 0・85度なんてたいした上昇ではないと思われるかもしれませんが、これは世界各地での平均なので、地域によってはもっと上がっています。たとえばヒマラヤ山脈など標高の高いところや、北極などの極地方では世界平均の2倍以上も気温が上昇しています。日本は北緯30度くらいとやや高い緯度にあるので、世界平均よりも上がっており、過去100年で平均気温が約1.3度上昇しました。これは【 A 】 ③ なのです。しかも近年になるほど、気温上昇の速度は上がっています。【 B 】 地球温暖化はどんどん加速しているのです。

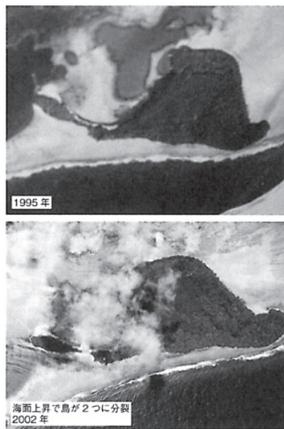
ちなみに今から1万5000年前の氷期の平均気温は、現在の平均気温よりもたった4度から7度低かっただけであることがわかっています。つまり平均気温が5度違うならば氷期になるような大きな変化を地球上にもたらしのです。しかもこれは1万年以上もかかって変化したのですが、現在はたった100年間で平均気温を1度も上昇させるような変化を地球上に発生させています。これは多くの生物が順応していけないような急激な環境の変化です。そのため、温暖化の影響はすでに世界中の至る所に現れています。

日本では過去100年で平均気温が1.3度上昇し、夏には30度を超える真夏日や、35度以上の日も珍しくなくなりました。気象庁では、今まで25度以上の日を「夏日」、30度以上の日を「真夏日」と呼んでいましたが、あまりにも35度以上の日が当たり前となったので、2007年に35度以上の日を「猛暑日」と新しく名付けたほどです。夏の夜も暑くなっており、25度以下には下がらない熱帯夜が増加しています。猛暑や熱帯夜の増加に伴って、熱中症になる人も急増しており、2010年には救急車で搬送される熱中症患者が全国で5万人を超え、1700人も亡くなりました。熱中症と言えば、夏の炎天下に④戸外で運動したりしたときにかかる、と思っている方が多いかもしれませんが、実は家の中で発生しているケースが3分の1を占めるのです。特に65歳以上では、半数以上が家の中で熱中症になっています。「C」真夏だけではなく、初夏から秋まで発生しています。このまま温暖化が進むと、日本で真夏日を記録する日が100日程度にまで増えると予測されているので、熱中症による死亡者はもつと増えてしまうでしょう。猛暑や洪水の増加、それに伴う農業や林業・漁業などへの影響はさらに深刻化していくと予測されます。温暖化はもはや遠い将来の話ではなく、私たちの生活のすぐ傍まで迫っている危機であり、今までとは違った新たな防災対策や対応が必要となっているのです。

世界に目を転じると、日本よりももつと深刻な影響や被害が出ているところが多くあります。北極の海水は年々溶けて縮小しており、2012年9月には過去最少記録を塗り替えています。ヒマラヤ山脈の氷河も年々縮小しており、大量の雪解け水が山脈の谷にたまって湖（氷河湖）を形成しています。あまりにも水がたまった氷河湖は時に決壊して、土石流となってふもとにある村を襲います。ネパールなどヒマラヤ山脈の山麓に位置する国では、たびたび土石流の被害にあつて苦しめられているのです。また、ヒマラヤ山脈の氷河はガンジス川などの国際河川の重要な水源の1つであり、その流域には10億人が暮らしています。氷河が縮小していくことによって水源不足となり、近い将来に数億人が水不足に直面するだろうと予測されています。温暖化の影響というのは、開

発の遅れた途上国ほど深刻で、たとえば南太平洋の島国では、海面  
 上昇によって陸地が削られ、住む家をなくす住民も現実に出てきて  
 います。写真は南太平洋にあるキリバス共和国の島の様子です。  
 1995年には1つの島だったものが2002年には標高の低いと  
 ころが海面に沈んでしまい、2つの島に分裂してしまいました。も  
 ちろん温暖化の影響は途上国だけではなく、先進国においても顕在  
 化しています。2003年にはヨーロッパで異常に暑い夏となり、熱中症などで約2万人も亡くなりました。こ  
 れら温暖化による被害は、すでに飢餓や貧困に苦しむ低開発地域においては、地域紛争を激化させる要因ともな  
 り、テロの温床となるようなジタイも招いています。地球温暖化は、もはや安全保障を脅かすような深刻な  
 リスクなのです。

キリバス共和国・デケーティク島 1995年と  
 2002年の衛星画像



海面上昇で島が2つに分裂  
 2002年  
 左側の半島が海面上昇と海岸浸食によって切り離  
 されてしまった。  
 ©The Nature Conservancy Micronesia Field Office

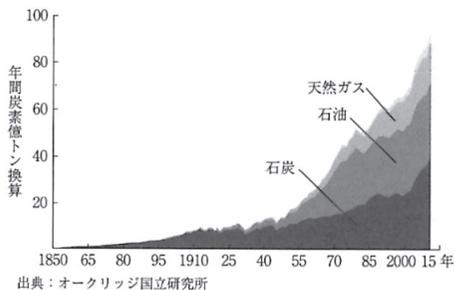
⑧ 温暖化は、人間が産業革命以降ずっと排出し続けてきた温室効果ガスの影響によって引き起こされているこ  
 とは、今や世界中の地球温暖化を研究する科学者たちが認めているところです。⑨ 温室効果ガスとは、大気を温  
 めるガスのことで、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガスなどの様々な種類がありますが、代表的な  
 ものは二酸化炭素です。その二酸化炭素はなぜ増えたのでしょうか？

人類は、イギリスなどヨーロッパを中心に18世紀半ばごろから、石炭を燃料として使ってエネルギーを作りだ  
 し、工業化を進めました。たとえば石炭を燃焼させて蒸気を作り、その蒸気で工場の機械を動かしたり、蒸気機  
 関車を走らせたりしたのです。それによって大きな工場でたくさんの労働者を使つての大量生産が可能となり、  
 人口が増えて、町ができ、⑩ 人々の生活は一変しました。さらに19世紀後半以降は石油が使われるようになり、

車を走らせ、電気を作りだし、いろいろな工業製品が作られるようになって、先進国は今日の豊かな生活を手にしました。これらの生活を支える石炭や石油、天然ガスは、<sup>①</sup>化石燃料と呼ばれます。昔の動植物の死骸が地中に堆積して、そこで長い期間かかって加圧・加熱されてできた化石であるためです。化石燃料は炭素の塊であるため、燃料としてこれらの化石燃料を燃やすと、空気中の酸素とくっついて二酸化炭素となり、大気中に出ていきます。つまり、私たちが電気を使ったり、車に乗ったり、工場で作られたものを使って暮らしている生活は、「 D 」を出し続けている生活なのです。二酸化炭素の排出量を見ると、1850年ごろ（産業革命）から、図に見るように急激に増えています。これが地球温暖化を引き起こしているのです。

この二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスは、熱を吸収する性質があります。地球上には、太陽からの光が降り注いでおり、また地球から宇宙に向かって赤外線（熱）を放出することで、一定の温度均衡を保っています。もし大気に温室効果ガスがないならば、地球の平均気温は氷点下19度であると言われており、この状態では人類が住める環境ではありません。しかし温室効果ガスがあるので熱を吸収して、一部の熱が宇宙へ逃げずに、大気中に留まって地球を暖かく保つ役割を果たしています。このおかげで地球の平均気温は14度となって、私たちが暮らせる環境ができています。しかし今は、人間活動によって大気中の温室効果ガスが増えすぎてしまっています。熱を吸収するガスが増えるわけですから、大気が前よりも温まってしまっているのです。これが現在起きている地球温暖化の仕組みです。

燃料別に見る世界の炭素排出量



この急速な温暖化が地球上の生物に与える影響は、とても大きいものです。したがって、この状況を作り出したわたしたち人間が、<sup>⑫</sup>温暖化の速度を緩和するよう努力をすべきだと考えます。そのためには、二酸化炭素排出量を増やさない方法でエネルギーを獲得していくことが望まれます。世界の人口は一九〇〇年からこれまでに四倍以上に増えていきますから、仮に一人あたりのエネルギー消費を同じレベルに戻すとしても全体としては四倍以上エネルギーを消費し続ける、すなわち化石燃料を燃やし続けることになります。

また、化石燃料を燃やす代わりに原子力発電によるエネルギー獲得を将来も続けていく、【E】さらに増やしていくことに大きな問題があることはすでに書きました。すると許されるエネルギー獲得方法は、化石燃料や原子燃料などの地下資源を利用せず、太陽光、風力、地熱など再生可能エネルギーを利用するものになりますが、太陽光や風力発電は天候の影響を受けて安定した電力供給ができない、地熱発電所に適した場所は限られている上、建設に時間がかかるなど、それぞれに課題があり、【F】にはそちらに全面的に移行することは不可能です。

一方で再生可能エネルギーの利用が増えています。二〇一五年の世界の風力発電施設の発電能力が原子力発電によるものを超えたことが報道されました。しかし、まだどうして化石燃料や原子燃料に頼らずにやっていけるレベルには達していません。電力会社に勤めている友人は「原子力発電所を再稼働するべきでないという気持ちもわかるが、だからといって電気代は値上げはすると言われると困る」と言います。原子力発電所を再稼働せずに化石燃料の消費量を減らすには、エネルギー消費<sup>⑬</sup>のジタイを節約するしかありません。しかし、わたしたちには一〇〇年前のエネルギー消費の生活に戻る覚悟はないでしょう。

問一 — 部①「耳にしませんか」とありますが、「耳にする」の意味としてもっともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 聞くつもりはなくても、話が自然と聞こえてくる。

イ 聞きたくない話をできるだけ聞かないようにする。

ウ あまり良くない話をこっそりと人に教える。

エ 聞こうとして話の内容に集中する。

問二 — 部②「0・85度なんてたいした上昇ではないと思われるかもしれませんが」という表現には、筆者の「こ

の上昇は、問題である」という考えがうかがえますが、筆者が「この上昇は問題である」と考える根拠を述べたものとしてもっともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア この平均気温の上昇は、氷期に表れた平均気温の変化と同様であり、氷期に見られた気温の変化が地球上の各地で見られているということ。

イ 地球の平均気温が0・85度上昇し、ヒマラヤ山脈の氷河は縮小しても、他の地域の氷河には、縮小がみられないということ。

ウ 近年の平均気温の上昇は、たった一〇〇年で起こった出来事であり、世界的にみると、平均気温が二倍以上上昇している地域の方が多いということ。

エ 地球上の平均気温が0・85度上昇しただけで、海面上昇がみられ、小さな島では、居住地が海面に沈んでしまうような出来事に見舞<sup>ま</sup>われている所もみられるということ。

問三 一 A 一 に当てはまる文としてもつともふさわしいものを、下表を

参考にして、次から選び、記号で答えなさい。

ア たとえていうならば、東京都が札幌市と同様の降雪量になるような変化

イ たとえていうならば、東京都が宮崎県の気候になるような変化

ウ たとえていうならば、日本がロンドンのような乾燥した気候区分に属するような変化

エ たとえていうならば、東京都の平均気温がバンコクと同じ気温になるような変化

問四 一 B 一 一 C 一 一 E 一 に当てはまる言葉としてもつともふさわしいものを次から選び、それぞれ記

号で答えなさい。

ア あるいは イ しかし ウ しかも エ では オ そこで

カ つまり キ なぜなら ク ただし

都市名	平均気温 (約℃)	年間降水量 (約 mm)	降雪量 (約 mm)	気候
札幌市	9.2	1,146	479	冷帯
東京	16.1	1,598	8	温暖湿润気候
宮崎市	17.4	2,625	0	湿润亜热带気候
ロンドン	10	640		西岸海洋性気候
トロント	10	1,189	349	冷帯湿润気候
バンコク	28.5	1,583		热带モンスーン気候

問五 — 部③ 「多くの生物が順応していけないような急激な環境の変化です」と同じような内容を表している一文を、文章Bより三十五字以内で抜き出し、最初と最後の五字を答えなさい。なお、句読点も字数にふくみます。

問六 — 部④ 「戸外」の読みを答えなさい。

問七 — 部⑤ 「顕在」・⑥ 「温床」の意味としてもつともふさわしいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

⑤ 「顕在」

- ア 小さな部分、小さな存在に目を向け、取り上げること。
- イ おおざっぱな部分だけでなく、細部までが明らかにされること。
- ウ 隠れてかくいたものが明らかにすること、はつきりすること。
- エ 急に明らかになること、突然表に出てくること。

⑥ 「温床」

- ア 意図的にある結果に導こうとする力
- イ 悪事を働くための知恵
- ウ 誰にとつても居心地の良い環境
- エ ある結果が生じやすい環境かん

問八 — 部⑦「ジタイ」・⑬「ジタイ」を漢字で書いたときの組み合わせとしてもっともふさわしいもの次から  
選び、記号で答えなさい。

- ア ⑦ 事態 ・ ⑬ 自体                   イ ⑦ 事態 ・ ⑬ 事態  
ウ ⑦ 自体 ・ ⑬ 事態                   エ ⑦ 自体 ・ ⑬ 自体

問九 — 部⑧「温暖化は、人間が産業革命以降ずっと排出し続けてきた温室効果ガスの影響によって引き起こ  
されている」と考えられるのはなぜか、文章A及び文中のグラフを参考にして、もっともふさわしいもの  
を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 人間の生活が豊かになった一方で、人間は常に労働することを迫られるようになり、人間の価値観が  
大きく変化したから。  
イ 産業革命以降、極端に工業が発展し、人間の生活には大量生産大量消費が当たり前となってしまうた  
から。  
ウ 産業革命以降、工業化が進み、人間が豊かな生活を手に入れると同時に二酸化炭素排出量が急激に増  
え続けているから。  
エ 人間が豊かな生活を求める一方、再生可能エネルギーへの転換をはかり、自然と共存させようとして  
いるから。

問十 — 部⑨「温室効果ガス」について述べたものとして不適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 温室効果ガスとは、石炭や石油などを燃やす際に生じる、二酸化炭素などのことを指す。

イ 温室効果ガスが増えることによつて、地球上から放出される熱量が増えていくため、地球が温められ、気温が上昇していく。

ウ 温室効果ガスは、熱を吸収する働きがあり、一部の熱を放出して一部の熱を吸収し、地球の気温を一定に保つ働きをしている。

エ 温室効果ガスがなければ、地球の熱は全て放出されてしまい、地球上の気温は氷点下になってしまい、人間が住める環境ではなくなってしまう。

問十一 — 部⑩「人々の生活」と同じような意味で用いられている言葉を文中より四字で抜き出しなさい。

問十二 — 部⑪「化石燃料」とありますが、なぜ「化石燃料」を使用すると、「温室効果ガス」が増えるのかを

説明した次の文の【 】に当てはまる言葉をそれぞれ文中より指定された字数で抜き出して答えなさい。

なお、句読点も字数にふくみます。

【A (五字以内)】である化石燃料を燃やすと、【B (三十字以内)】いくから。

問十三 — 【D】に当てはまる言葉を文中より五字で抜き出しなさい。

問十四 — 部⑫「温暖化の速度を緩和するような努力」とありますが、筆者は「温暖化の速度を緩和する努力」をどのように捉えていますか、もつともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 大量生産大量消費の便利な生活に慣れてしまった私たちが、100年前のエネルギー消費の生活に戻る努力をすべきだというならば、国として相当な覚悟が必要となる。

イ 一度、便利な生活に慣れてしまった人間が、生活レベルを100年前のものに戻すことは不可能であるが、できないとあきらめるのではなく、使用エネルギーの転換を視野に入れつつ努力するべきだ。

ウ エネルギー使用率を減らすことを考えるのではなく、安定した電力供給が出来なくても、太陽光エネルギーなど、再生可能エネルギーの使用を第一に考えた方がよい。

エ 二酸化炭素排出量を増やさないように、化石燃料を用いず、再生可能エネルギーを用いながら、エネルギーを節約するための行動をすべきだが、それもなかなか難しい。

問十五 【 F 】には「わずかな時間。きわめて短い期間」という意味の四字熟語が入りますが、【 F 】に当てはまる四字熟語としてもつともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 一石二鳥    イ 一喜一憂    ウ 一朝一夕    エ 一意専心

問十六 文章A・Bを読み、地球温暖化について話し合いをした生徒の意見をまとめた次の文の中で、誤った意見を述べている生徒の意見を一つ選び、記号で答えなさい。

生徒A 地球温暖化は、生活の質を落とせない人間の存在によって引き起こされているのだから、仕方がないと思います。

生徒B 百年前より世界人口も増え、一個人がエネルギー消費量を減らすだけでは二酸化炭素排出量を減らせず、温室効果ガス削減の対策は難しいですね。

生徒C 氷期の平均気温が、現在の平均気温と四度から七度しか変わらなかったということには驚きませんでした。

生徒D また、地球温暖化が、環境に地球環境を変化させるだけでなく、テロを引き起こす可能性があることも知りませんでした。

二 次の詩を読んで後の問いに答えなさい。

ふろふきの食べ方  
長田弘

自分の手で、自分の

一日をつかむ。

新鮮な一日をつかむんだ。

スガはいつていない一日だ。

手にもってゆつたりと重い

① いい大根のような一日がいい。

それから、確かな包丁で

一日をざつくりと厚く切るんだ。

日の皮はくるりと剥いて、

面取りをして、そして一日の

見えない部分に隠し刃をする。

火通りをよくしてやるんだ。

そうして、深い鍋なべに放りこむ。

底に夢ゆめを敷しいておいて

冷たい水をかぶるくらい差して、

弱火でコトコト煮に込んでゆく。

自分の一日をやわらかに

静かに熱く煮込んでゆくんのだ。

こころさむい時代だからなあ。

自分の手で、自分の

( X ) をふるふきにして

熱く香かばしくして食べたいんだ。

熱い器うつわでゆず味あじ噌そうで

ふうふういって。

注 ふろふき 大根やかぶなどの野菜を大きく切つてゆでたり、煮たりなどしたものに練りみそをかけて

食べる日本料理。

\*ス 大根、れんこんなどに時期がすぎて、みにできるすきま。

\*面取り 料理で、大根などの切り口の角を削けずって丸みをつけること。形をととのえ、煮くずれを防ぐために行う。

\*隠し刃 料理で、火通しをよくしたり、食べやすくするため、材料に切れ目を入れること。

問一 この詩の形式を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 文語定型詩
- イ 文語自由詩
- ウ 口語定型詩
- エ 口語自由詩

問二 第四連で用いられている表現上の特徴は何か。もつともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 体言止め
- イ 擬人法
- ウ 対句
- エ 擬声語・擬態語

問三 — 部①「いい大根のような一日がいい」についての説明としてもっともふさわしいものを次から選び、

記号で答えなさい。

ア 重大な悩みごとについて深く考え込む一日。

イ ぎっしりと予定がまつまつた目まぐるしい一日。

ウ みずみずしくてずっしりと充<sup>じゅう</sup>実感のある一日。

エ 頭の中を真っ白にして何も考えずに過ごす一日。

問四 空らんXに入る語を本文から抜き出しなさい。

問五 この詩についての感想を生徒たちが言い合いました。次の生徒たちの中で、間違つてゐることを言うてる生徒が一人います。その生徒を記号で答えなさい。

生徒A ふろふき大根の作り方を一日に見立てているのが面白いと思うし、「隠し刃」という表現が、私には一日の過ごし方の自分なりの工夫のように感じられて、工夫次第で素敵な一日になると思いました。

生徒B 私は「底に夢を敷いておいて」という表現がとても気に入って、どんな一日も自分なりの希望や夢を持つて過ごすことが大事だと思つたし、「コトコト煮込んでゆく」というのも焦らず、自分のペースで毎日歩んでいきたいととらえることができました。

生徒C 作つたふろふきがあまりにも熱くて、最後になかなか食べられないさまを描いているのは、自分の思いや意見を強く持ちすぎると、いざ一日を終えて振り返つた時に後悔するということを教えてくれている気がしました。

生徒D 毎日が楽しいばかりでなく、つらい時もあるけれど、ふろふきを自分の手でおいしく作ろうと意識するように、私たちも日々、自分らしく過ごそうとすることの大切さをこの詩から学ぶことができました。

三 次の和歌についての問いにそれぞれ答えなさい。

- A ひさかたの光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ  
B わたの原①八十島かけて②漕ぎ出でぬと③人には告げよ④海人の釣り船  
C 秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる

問一 Aの「花」とは具体的に何の花のことか。ふさわしい花の名を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 桜 イ たんぽぽ ウ すみれ エ 菜の花

問二 Bの和歌には、「句切れ」と言っ、意味の切れ目や言葉を切ることでさまざまなリズムを生む用法が用いられています。①～④のどこに句切れがあるか、数字で答えなさい。

問三 Cの解釈としてもっともふさわしいものを次から選び、記号で選びなさい。

- ア 秋が来たと見てはつきりとはわからないが、台風のような強い風の音にびっくりさせられる。  
イ 目の前にはさわやかな夏の景色しか見えないが、風の音を聞くと、秋が来たと感じさせられる。  
ウ 秋が来たと目にははつきりと見えないが、風の音を聞くと、秋が来ただと気づかされる。  
エ かすかにしかわからないが、風の音を聞いて、秋が来たと思っっているうちにいつのまにか秋が過ぎ去ってしまった。

**四** 次の例文の空らんにはAの組、Bの組と、それぞれ反対の意味を表す漢字一字がはいる。それぞれの空らんに入るふさわしい漢字一字を答えなさい。

- A ① 現在、（ ）子高齡化がどんどん進んでいる。  
② これからの時代、（ ）様性が求められる。  
B ① 災（ ）時の備えを日頃からきちんとしている。  
② 会社の（ ）益が増えるよう懸命に働いた。

**五** 次の文法問題に答えなさい。

問一 次の文の――部で言葉の働きが一つだけ違うものがあります。違うものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① ア 明日、新しく転校生が来るそうだ。  
イ 今の空模様だとこの後、雨が降りそうだ。  
ウ 今度の休みに姉は、富士山へ行くそうだ。  
エ 一昨日にあった試合で、彼は大活躍したそうだ。  
② ア 私は夏休みに『坊っちゃん』を読んだ。  
イ 今度の冬休みに読みたいのは『吾輩は猫である』だ。  
ウ 海外文学作品好きな兄は高校生だ。  
エ 私と兄が持っている本を合わせると全部で百冊だ。

問二 次の文の――部を正しい敬語に直したものを次から選び、記号で答えなさい。

①詳しくは、会場にいる生徒にうかがってください。

ア お聞きになさってください

イ おっしゃられてください

ウ 申し上げてください

エ おたずねください

②入学式の時に、先生が申されたとおりですね。

ア お話差し上げなされた

イ うけたまわった

ウ おっしゃった

エ 申し上げた

六 次の——部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 長年、彼はけん玉チャンピオンとしてクンリンした。
- ② 私のいとこはハイユウを目指していました。
- ③ 試合前に両チームのシュショウが代表してあいさつした。
- ④ 電気代がかからないよう、セツヤクすることを心がけている。
- ⑤ カイテキな生活を過ごせるようにした。

七 次の——部の漢字の読みを答えなさい。

- ① 次第に空の色が変わっていく。
- ② あさがおの種子が発芽する。
- ③ 彼女は明朗な人だ。
- ④ バスケットボールの体験会に奮ってご参加ください。
- ⑤ この店は豊富な品種を取りそろえている。